

## 椎名紀久子教授の略歴

- 昭和47.5.14 スティーブンスカレッジ文学部卒業  
昭和48.3.10 聖心女子大学文学部卒業  
昭和58.1.25 ボストン大学大学院教育研究科修士課程修了（教育学修士）  
平成3.9.30 千葉大学大学院自然科学研究科博士課程修了（博士（学術））  
平成6.4.1 千葉大学講師教育学部  
平成8.4.1 千葉大学助教授外国語センターに昇任  
平成12.4.1 千葉大学教授外国語センターに昇任  
平成16.4.1 千葉大学教授国際教育開発センターに配置換  
平成18.4.1 千葉大学教授言語教育センターに配置換  
平成27.3.31 定年により退職

## 研究業績

著書名	発行所	発行年	備考
楽しいおしゃべり英語 —トーキング・カード (Sony Talking Card System)	株式会社ソニー	昭和60年3月	単著
たのしい <i>Nursery Rhymes</i> — <i>Hickory, Dickory, Dock</i>	ソニー 財団法人 幼児開発協会	昭和61年9月	単著
英語科のCAI第2部 CAI, 第2章音声	エデュカ	昭和62年10月	共著
<i>Walky Worky Listening Course</i> — <i>Basic</i>	アスク講談社	平成1年4月	共著
<i>Walky Worky Listening Course</i> — <i>Advanced</i>	アスク講談社	平成1年4月	共著
現代英語教授法総覧 第27章 コンピュータ利用の外国語教育	大修館書店	平成7年12月	共著
<i>Listen to Me! College Lectures,</i> CALL教材シリーズ, 上級Vol.1	メディア教育開発センター	平成11年4月	共著
<i>Listen to Me! People Talk,</i> CALL教材シリーズ, 上級Vol.2	メディア教育開発センター	平成11年4月	共著
TOEICテスト 3ラウンド方式リスニング	SSコミュニケーションズ	平成11年10月	単著
<i>Listen to Me! First Listening,</i> CALL教材シリーズ, 初級	科学研究費補助金	平成13年3月	共著
<i>Listen to Me! College Life,</i> CALL教材シリーズ, 中上級	科学研究費補助金	平成13年3月	共著
英文雑誌TIMEを読めるようになるための 語彙力増強用CALL教材	千葉大学	平成14年3月	単著
<i>Listen to Me! Introduction to College Life,</i> CALL教材シリーズ中級	科学研究費補助金	平成14年3月	共著
<i>Listen to Me! College Life II,</i> CALL教材シリーズ, 上級	科学研究費補助金	平成15年3月	共著
<i>Listen to Me! New York Live,</i> CALL教材シリーズ, 初中級	千葉大学	平成16年3月	共著
<i>NEW CROWN ENGLISH SERIES 1, 2, 3.</i> 中学校英語検定教科書	三省堂	平成18年3月	共著
TOEICで高得点：チャンクで伸ばすリスニング	角川SSコミュニケーションズ	平成21年10月	単著
<i>NEW CROWN ENGLISH SERIES 1, 2, 3.</i> 中学校英語検定教科書	三省堂	平成24年4月	共著
CAN-DOリスト作成・活用 英語到達度 指標CEFR-Jガイドブック *Part1 CAN-DOリストの原点 CEFRとは？Q9：CEFRは評価の ため？指導のため？ *Part2 CEFR-Jを理解する Q37：ListeningのCAN-DOと実際の スキルとの関連性は？	大修館書店	平成25年6月	共著 (*単著)

論文名	発行所	発行年	備考
マザー・グースの語り	『千葉大学教育学部研究紀要』, 第35巻, 第1部, pp.139-154.	昭和62年2月	共著
幼児・児童向け英語物語の語り	『日本児童英語教育学会研究紀要』, 第6号, pp.31-44.	昭和62年3月	共著
Nursery Rhyme と英語教育	『児童英語 21』, 第1巻, 第3号, pp.14-16, 19.	昭和62年5月	単著
ヒアリング(英語)の指導と評価のためのCAIシステム	<i>Language Laboratory</i> , 第24号, pp.25-36.	昭和62年6月	共著
イントネーション・パターンの分析, 定義, 比較 —パーソナルコンピュータを利用した 研究・指導のために	『名古屋学院大学外国語教育 紀要』, 第17号, pp.1-11.	昭和62年9月	共著
幼児・児童向け絵単語集の分析的考察 —コミュニケーション能力育成のための 教材を考える	『日本児童英語教育学会研究紀要』, 第7号, pp.17-27.	昭和63年3月	共著
ヒアリングの理論と指導に関する基礎 的研究Ⅱ	『名古屋学院大学外国語教育 紀要』, 第18号, pp.35-42.	昭和63年3月	共著
ヒアリングの理論と指導に関する基礎 的研究	<i>Language Laboratory</i> , 第25号, pp.3-13.	昭和63年9月	共著
ヒアリングに関する研究: ヒアリング テストの信頼性, 妥当性, 実用性	『言語行動の研究』, 第1号, pp.39-46.	昭和63年12月	共著
ヒアリングに関する研究: ヒアリング の指導における事後処置の効果	『言語行動の研究』, 第1号, pp.47-53.	昭和63年12月	共著
ヒアリングに関する研究: 効果の残る 音声指導 —その再認と再生	『言語行動の研究』, 第1号, pp.54-58.	昭和63年12月	共著
ヒアリングに関する研究: イントネ ーションの指導	『言語行動の研究』, 第1号, pp.59-63.	昭和63年12月	共著
マルチメディア情報提示機器による英 語聴解力養成 —その効果と学習者によるシステムの 評価	『語学教育研究所紀要』, 第4号, pp.61-73.	平成2年11月	共著
英語長文聴解力養成のためのコース ウェアの作成とその評価	『千葉大学教育学部研究紀要』, 第39巻, 第1部, pp.205-220.	平成3年2月	共著
英語長文聴解力育成用CAIのコース ウェアの開発	千葉大学大学院自然科学研究 科・生産科学・計測情報科学, 博士論文, pp.1-182.	平成3年9月	単著
ヒアリング指導の効果を高めるCAIシ ステムの開発	<i>Language Laboratory</i> , 第29号, pp.133-145.	平成4年12月	共著
3段階方式の指導法による音声形式聞 き取り力の養成 —指導法の開発とその試用実験	『言語行動の研究』, 第3号, pp.2-14.	平成5年3月	共著
教材の難易度と応用力の向上に関する 実証的研究	『言語行動の研究』, 第3号, pp.15-25.	平成5年3月	共著

論文名	発行所	発行年	備考
Development of Courseware for Effectively Teaching Listening Comprehension to Japanese Students of English	『言語行動の研究』, 第4号, pp.66-81.	平成6年4月	共著
大学改革のなかの英語教育改革 (私案)	『千葉大学教育学部研究紀要』, 第43巻, II, pp.51-67.	平成7年2月	共著
大学における英語授業の改善 一ひとつの試み	『千葉大学教育実践研究』, 第3号, pp.97-105.	平成8年3月	単著
コミュニケーション能力を養成するためのCALLシステムの開発(1) 全体構想とコースウェア開発計画	『言語文化論叢』, 第2号, pp.147-166.	平成8年3月	共著
コミュニケーション能力を養成するためのCALLシステムの開発(2) ソフトウェアの開発とその試用	『言語文化論叢』, 第2号, pp.167-191.	平成8年3月	共著
コミュニケーション能力を養成するためのCALLシステムの開発(3) CAT (Computer-Assisted Testing) システムの開発とその試用	『言語文化論叢』 第2号, pp.193-207.	平成8年3月	共著
コミュニケーション能力を高めるためのCALLシステムの開発(1) 教育目標の設定と教材開発計画	『LL通信』, 第189号, pp.6-9.	平成8年6月	共著
コミュニケーション能力を高めるためのCALLシステムの開発(2) 3ラウンド制の教材を利用したCALL用コースウェアの開発	『LL通信』, 第190号, pp.2-5.	平成8年8月	共著
コミュニケーション能力を高めるためのCALLシステムの開発(4) CALLシステムの運営	『LL通信』, 第192号, pp.2-5.	平成8年12月	共著
コミュニケーション能力を高めるためのCALLシステムの開発(6) CALLシステムの使用効果	『LL通信』, 第194号, pp.2-5.	平成9年4月	共著
映画とテレビ番組を活用した英語聴解力の養成 —3ラウンド制の指導理論に基づいた教材の作成と指導, および効果の検証	『言語文化論叢』 第4号, pp.15-29.	平成10年3月	共著
「TV英語」科目におけるアカデミックレベルのコミュニケーション能力養成—独自開発教材による指導と効果の検証	『言語文化論叢』 第6号, pp.131-145.	平成11年12月	単著
CALLの現状分析とコースウェア開発における今後の課題	『言語文化論叢』 第6号, pp.147-171.	平成11年12月	共著
PowerPoint を活用した簡易型英語CD-ROM教材の開発 —コミュニケーション能力の養成を目指して	『関東甲信越英語教育学会研究紀要』, 第15号, pp.13-25.	平成13年3月	共著

論文名	発行所	発行年	備考
コミュニケーション能力養成用 CD-ROM教材の分析的考察 —英語CALL教材の高度化に向けて	<i>Language Education &amp; Technology</i> , 外国語教育メ ディア学会, No.38, pp.145- 174.	平成13年6月	共著
テレビニュースを活用した日本語CALL 教材の開発 —基礎的研究	『言語文化論叢』 第9号, pp.23-38.	平成13年12月	共著
英語CALL教材の高度化の研究	『言語文化論叢』, 第9号, pp.1-22.	平成13年12月	共著
Learning from Success: A Survey of American Intensive English Programs	『言語文化論叢』, 第12号, pp.109-119.	平成15年12月	共著
高校生のリスニング力養成 —英語CALL教材による自律学習の支援	『言語文化論叢』, 第1号, pp.43-56.	平成17年3月	共著
外国語の学習をいかに実生活に近づけ るか [外国語] —認知的学習活動とコミュニケーション 能力の向上を目指して	『中等教育資料』, 文部科学省, 842号, pp.30-33.	平成18年7月	単著
SEL-Hiの実態調査 —中間報告	『英語教育 別冊』, 大修館, 第55巻6号, pp.64- 68	平成18年8月	共著
大学生の日本語表現能力に関する一考 察 —「口頭表現演習」における描写の課 題	『言語文化論叢』, 第2号, pp.117-127.	平成20年3月	共著
「文章表現演習」における学生の問題 点とその改善について	『言語文化論叢』, 第2号, pp.129-136.	平成20年3月	共著
日本の高校生における英語聴解力と読 解力の実態調査 —筋道を追った情報統合力と内容把握 力	『言語文化論叢』, 第2号, 842号, pp.137-147.	平成20年3月	共著
小学校英語教育を展望する	『英語展望 特集：世界水準の 英語教育を考える』, ELEC Bulletin, No.116, pp.30-35.	平成20年8月	共著
特区における英語教育の実態調査の結 果の分析	『日本児童英語教育学会 (JASTEC) 研究紀要』, 第27号, pp.1-24.	平成20年10月	共著
日本人小学生を対象とした名詞習得の 基礎的研究	『これからの小中英語教育を 創る』, 愛知教育大学, pp.55-73.	平成23年3月	共著
『英語の絵本の読み聞かせ』から始め る学校図書館と外国語活動のコラボ レーション	『学校図書館』, 公益社団法人・全国学校図書 館協議会, 第739号, 2012年5 月号, pp.14-17.	平成24年5月	単著

論文名 (科学研究費補助金・成果報告書)	成果報告書名	発行年	備考
英語CALL教材の高度化の研究	『科学研究費補助金 特定領域研究 (A) 高等教育改革に資するマルチメディアの高度利用に関する研究, 研究成果報告書』, 研究代表者:竹蓋幸生, pp.159-172.	平成13年 3月	共著
外国語CALL教材の高度化の研究	『科学研究費補助金 特定領域研究 (A) 高等教育改革に資するマルチメディアの高度利用に関する研究, 研究成果報告書』, 研究代表者:竹蓋幸生, pp.241-257.	平成14年 3月	共著
市販英語CD-ROM教材の認知心理学分析と考察 —外国語CALL教材の高度化に向けて	『科学研究費補助金 特定領域研究 (A) 高等教育改革に資するマルチメディアの高度利用に関する研究, 研究成果報告書』, 研究代表者:竹蓋幸生, pp.258-266.	平成14年 3月	単著
英語CALL教材 Listen to Me! によるコミュニケーション能力の養成	『科学研究費補助金 特定領域研究 (A) 高等教育改革に資するマルチメディアの高度利用に関する研究, 研究成果報告書』, 研究代表者:竹蓋幸生, pp.495-497.	平成15年 3月	単著
SELHi実態調査結果の概要と資料 中高一貫教育に関する実態調査中間報告 小学校における英語教育の実態調査(その1)	『科学研究費補助金 基盤研究 (A) (1) 「第二言語習得研究を基盤とする小, 中, 高, 大の連携をはかる英語教育の先導的基礎研究, 中間報告書』, 研究代表者:小池生夫, pp.5-24, 25-129, 153-209.	平成18年 6月	共著
小学校における英語教育の実態調査(その2) 日本の小学校英語教育にCEFRの指標を応用するための予備的調査:英語の名詞のマッチング調査の結果	『科学研究費補助金 基盤研究 (A) (1) 「第二言語習得研究を基盤とする小, 中, 高, 大の連携をはかる英語教育の先導的基礎研究, 研究成果報告書』, 研究代表者:小池生夫, pp.191-294, 295-305.	平成20年 3月	共著

論文名 (科学研究費補助金・成果報告書)	成果報告書名	発行年	備考
<p>「ことば」の育成 —イングランドのリテラシー教育からの示唆</p> <p>論理的思考力の育成に関する文献調査</p> <p>論証型意見文に関する文献調査</p> <p>日本の小学生・中学生・高校生の論理的思考力 —PISAと日本の学力調査結果の観察</p> <p>An Analysis of Japanese University Student Logic in Presentations</p> <p>小・中学校の国語の教科書分析と指導に関する実態調査 —論理的思考力育成に焦点を置いて</p> <p>英語の絵本Golden Axを素材とした音声対話型Web教材の開発</p> <p>The relevance of Sheltered Immersion Programs: Second Language Approaches to EFL in Japanese Public Schools</p>	<p>『科学研究費補助金 基盤研究 (B) 国際ネットワークを重視した小中高一貫英語教育システムの構築 —国語力強化と連携して、研究成果報告書』, 研究代表者: 椎名紀久子.</p> <p>pp.7-30, 43-52, 53-68, 69-82, 111-126, 139-148, 243-246, 247-254.</p>	平成20年3月	共著
<p>英語の批判的読解力と論理的発表力の育成 —小中高大における系統的母語指導と連携して</p>	<p>『科学研究費補助金基盤研究 (B) 英語の批判的読解力と論理的発表力の育成—小中高大における系統的母語指導と連携して、研究成果報告書』, 研究代表者: 椎名紀久子. <a href="https://kaken.nii.ac.jp/pdf/2011/seika/C-19/12501/20320076seika.pdf">https://kaken.nii.ac.jp/pdf/2011/seika/C-19/12501/20320076seika.pdf</a></p>	平成24年3月	単著
<p>CEFR-J 検証のプロセス—自己評価と実際の技能との違い: Listening</p>	<p>『科学研究費補助金基盤研究 (A) 小, 中, 高, 大の一貫する英語コミュニケーション能力の到達基準の策定とその検証, 研究成果報告書』, 研究代表者: 投野由紀夫, pp.202-208.</p>	平成24年3月	単著

学会発表	学会等の名称	発表年月日	備考
乳幼児の言語習得の過程を観察して	日本児童英語教育学会第6回全国大会 (於 神奈川大学)	昭和60年6月9日	単独
押韻詩による英語の指導と乳幼児の言語習得能力	第9回ICU(国際基督教大学) 幼児言語学研究会 (於 国際基督教大学)	昭和60年7月21日	単独
語い指導の工夫 —各種絵単語集を中心に	日本児童英語教育学会第8回全国大会 (於 聖心女子大学)	昭和62年6月28日	共同
ヒアリングテストの信頼性、妥当性、実用性	語学ラボラトリー学会第28回全国研究大会 (於 中部大学)	昭和63年7月31日	共同
聴解用教材の難易度測定法に関する基礎的研究	語学ラボラトリー学会第29回全国研究大会 (於 筑波大学)	平成1年8月7日	共同
長文(英語)聴解力育成用CAIのコースウェアの開発とその試用	語学ラボラトリー学会30周年記念国際大会 (於 神戸国際会議場)	平成2年7月31日	共同
Development of Courseware for Effectively Teaching Listening Comprehension to Japanese Students of English	The Second International Conference on Foreign Language Education and Technology (於 中部大学)	平成4年8月6日	共同
音声形式の聴解力養成手法の開発と試用	語学ラボラトリー学会第33回全国研究大会 (於 早稲田大学)	平成5年8月4日	共同
教材の難易度と応用力の向上に関する実証的研究	第32回大学英語教育学会全国大会 (於 東北学院大学)	平成5年9月9日	単独
英語ヒアリング指導のためのマルチメディアCAIシステム	教育工学関連学協会連合第4回全国大会 (於 岐阜大学)	平成6年10月9日	共同
大学における英語授業の改善—ひとつの試み	第34回大学英語教育学会全国大会 (於 成城大学)	平成7年9月9日	共同
<i>Effectiveness of Clues Prepared for Comprehensible Input In Teaching</i>	Annual Conference of AAAL (American Association for Applied Linguistics) (Chicago: Illinois at Hotel Intercontinental)	平成8年3月24日	共同
CALLシステムの開発とその指導効果	語学ラボラトリー学会第36回全国研究大会 (於 拓殖大学)	平成8年7月31日	共同
映画・テレビ番組を使った聞き取り指導の効果—3ラウンド制の学習理論を活用した実証的研究	第22回全国英語教育学会仙台研究大会 (於 東北学院大学)	平成8年8月3日	共同
<i>Adapting Effective EFL Curriculum Designs for Japanese Universities</i>	The 12th World Congress of the International Association of Applied Linguistics (at Waseda University)	平成11年8月2日	共同



学会発表	学会等の名称	発表年月日	備考
英語力養成用市販CD-ROM教材の分析的考察	外国語教育メディア学会関東支部107回（平成12年度）研究大会（於 津田塾大学）	平成12年 6月10日	共同
三ラウンド制の指導理論に基づいた日本語CALL教材の開発	外国語教育メディア学会関東支部110回（平成13年度）研究大会（於 常磐大学）	平成13年10月13日	共同
CALLの有機的活用による英語教育システム—基礎的研究	外国語教育メディア学会関東支部110回（平成13年度）研究大会（於 常磐大学）	平成13年10月13日	共同
三ラウンド・システムに基づいた英語CALL教材の開発とその試用	日本教育工学会第17回全国大会（於 鹿児島大学）	平成13年11月24日	共同
英語CALL教材の高度化に向けた市販CD-ROM教材の分析的考察	特定領域研究(A)高等教育改革に資するマルチメディアの高度利用に関する研究, 平成13年度第2回領域全体会議（於 学術総合センター）	平成14年 1月28日	共同
CALLシステムの評価法について	『高等教育改革とマルチメディア』, 特定領域研究(A)高等教育改革に資するマルチメディアの高度利用に関する研究（於 学術総合センター）	平成14年 7月 8日	共同
CALLを有機的に導入したCSCLによる英語教育システムの開発と実践	第41回（平成14年度）JACET全国大会大学英語教育学会（於 青山学院）	平成14年 9月 7日	共同
CALL and Human Interface-Four Pillars of an Integrative EFL Learning Matrix: CALL, L1L2 Speaker Teachers, Student Abroad Programs Collaboration, and Study Abroad Programs	The Korea Association of Multimedia Assisted Language Learning, 2002KAMALL International Conference（at Seoul Education Training Institute, Seoul）	平成14年10月 4日	共同
実践：CALLによる英語教育CALL千葉大学の場合	文京学院大学シンポジウム（於 文京学院大学）	平成14年10月 3日	単独
Development of a CALL System to Teach Vocabulary for the TOEIC Test	13th World Congress of Applied Linguistics, Association Internationalize Linguistique Appliqué, (AILA2002) at Singapore	平成14年12月17日	共同
英語CALL教材College LifeシリーズCD-ROM	特定領域研究(A)高等教育改革に資するマルチメディアの高度利用に関する研究, 平成14年度第2回領域全体会議（於 日本科学未来館）	平成15年 1月28日	共同
認知的学習作業を重視した時事英語語彙の学習用CD-ROM教材の開発	第43回（平成15年）外国語教育メディア学会全国研究大会（於 関西外国語大学）	平成15年 8月 1日	共同

学会発表	学会等の名称	発表年月日	備考
Using Interactive Media in Presenting Children's Narratives: Enriching the Context for the Acquisition of Communicative Skills of the Second Language	Foreign Language Education and Technology Uniting the World (FLEAT5) (At Brigham Young University, USA)	平成17年 8月10日	共同
スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクールの実践と成果に関する実態調査	JACET第44回全国大会 (於 玉川大学)	平成17年 9月 8日	共同
30. Why the Japanese cannot put forward their point of view: Two cultures of Literacy (1)	American Association for Applied Linguistics (AAAL) (at Hotel Hyatt Montreal, Canada)	平成18年 6月20日	共同
『ことばの教育』と英語教育—コミュニケーション教育の観点から	JACET関東大会 (於 早稲田大学)	平成18年 6月25日	共同
Why the Japanese cannot put forward their point of view: Two cultures of Literacy (2)	Center for Innovative Learning Technologies (CILT) (at University of Cardiff)	平成18年 7月 6日	共同
小学生の英語コミュニケーション活動とその評価を容易にする教育支援システムの活用—教師とメディアによるティーム・ティーチング	外国語教育メディア学会 第46回 (2006年度) 全国研究大会 (於 京都産業大学)	平成18年 8月 4日	共同
Thinking Critically and Presenting Logically	Japan Association of Language Teaching(JALT) (At National Olympics Memorial Youth Center, Tokyo)	平成19年11月25日	共同
Metacognitively Enhanced Writing Courseware: "Kagoshima Academic Writing Space"	World CALL2008 (At Fukuoka International Congress Center, Fukuoka)	平成20年 8月 6日	共同
毎授業後に実施する授業評価の集計と分析を容易にするWebシステムの開発:「技術熟達者モデル」と「反省的実践者モデル」の融合による授業改善	外国語教育メディア学会 (LET) 50周年記念全国研究大会 (於 横浜市立サイエンスフロンティア高等学校)	平成22年 8月 4日	単独
Expanding English Vocabulary with Joy: Systematic integration of Primary School English into Junior High School English	The 8th ASIA TEFL International Conference (At La Thanh Guest House in Hanoi, Vietnam)	平成22年 8月 6日	単独
チャック指導のシステム化がリスニング力の伸長に及ぼす影響	第34回関東甲信越英語教育学会 (於 筑波大学)	平成22年 8月21日	共同

学会発表	学会等の名称	発表年月日	備考
Thinking Maps for All Ages	全国語学教育学会 (JALT) (於 愛知県産業労働センター)	平成22年11月21日	共同
Mapping Listening Tests for Japanese Learners of English to the CEFR (Common European Framework of Reference) using TOEIC	The 27th Annual Conference of JSET (日本教育工学会第27回全国大会) (於 首都大学東京)	平成23年 9月17日	共同
小中高一貫の英語リスニングの到達指標の策定と検証: CEFR(A2-B1)を照準にして	第40回九州英語教育学会・宮崎研究大会 (於 宮崎県立看護大学)	平成23年12月10日	共同
リスニング力向上に資するチャンク重視の指導効果: 語単位の指導と比較して	全国英語教育学会第39回北海道大会 (於 北星学園大学)	平成25年 8月10日	共同

講義・講演題目	講義・講演会名称	発表年月日	備考
千葉大学で開発されたCALLのための指導理論と教材開発	熊本大学マルチメディア利用の外国語教育開発プロジェクト講演会 (於 熊本大学)	平成12年 3月24日	単独
CALLと英語教育 —マルチメディアの活用法	桜美林大学言語教育関係講座, 「英語教育の明日を考える—21世紀の日本の英語教育が抱える課題」 (於 桜美林大学大学院)	平成13年 8月27日	単独
習熟度別教育について —コンピュータ支援の英語教育	第18回関東地区大学教育研究会 (於 防衛大学校)	平成13年 9月29日	単独
実践的コミュニケーション能力の育成 —「英語が使える日本人」の育成のための戦略構想をふまえて	千葉県教育研究会英語教育部会, 県高等学校教育研究会英語部会主催, 第23回英語教育研修会 (於 プラザ菜の花)	平成14年12月14日	単独
小中連携の英語学習の推進について	千葉県教育委員会 (Gateway to English Language : GEL Project) 成田市立中台中学校区英語科授業校内研修会 (於 成田市立中台中学校ほか小学校 4校)	平成14年~平成19年 (計23回)	単独
英語ができると世界が広がる	NPO歴史文化交流フォーラム (於 渋谷アイビスビル)	平成15年 5月17日	単独
CALLとヒューマン・インターラク션을系統化した言語指導	中国湖南大学日本語文化祭 (於 中国・湖南大学)	平成16年11月 5日	単独

講義・講演題目	講義・講演会名称	発表年月日	備考
高校におけるコミュニケーション能力の養成 —他技能への転移を期待できるリスニング力の養成（理論面から）	千葉県立千葉女子高等学校 英語教員研修	平成17年12月8日	単独
小学校英語の進め方 —音声重視の英語教育, そしてALTとのチーム・ティーチング	小学校英語教員研修 （於 成田市中台小学校）	平成18年3月23日	単独
英語科と国語科の連携効果について（SELHi）	第1回SELHi研修会 （於 広島県立尾道東高校）	平成18年2月14日 平成18年5月30日 平成19年3月16日	単独
国際社会に通用するコミュニケーション能力の育成	英語活動と国語科の言語技術の連携 （於 尾道市立栗原北小学校）	平成18年2月15日 平成18年3月14日 平成18年5月31日	単独
リスニング力を鍛える学習法	SELHi成田国際高校, 高校生対象の講演会 （於 千葉県立成田国際高等学校）	平成18年12月18日	単独
まとまりのある話や文章の聴解と読解に成功する秘訣を考えよう	第15回関東地区高等学校英語教育研究協議会 千葉大会 （於 神田外語大学）	平成20年8月7日	単独
小中連携の英語教育 —小学生こそ学ぶべきこと, 中学生だからできること	印旛地区教育研究会, 英語分科会, 『国際社会を生きる日本人の育成』 （於 成田市大栄町公会堂）	平成20年8月22日	単独
英語学習の最終目標 —CAN-DOを道標にして	英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組に係る拠点校における英語指導研修会 （於 千葉県立松戸国際高校） （於 千葉県立成田国際高校） （於 千葉県立流山おおたかの森高校）	平成24年11月16日 平成24年11月21日 平成25年1月22日	単独
CAN-DOによる自己評価と実際のスキル —リスニング力の場合	英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組に係る拠点校における英語指導研修会 （於 千葉県立成田国際高校） （於 千葉県立松戸国際高校） （於 千葉県立流山おおたかの森高校）	平成25年11月12日 平成25年11月27日 平成26年1月21日	単独
グローバル時代のコミュニケーション力「基本のき」 —リスニングとクリエイティブ・シンキング	第25回名古屋外国語大学外国語学部英米語学科主催講演会 （於 名古屋外国語大学）	平成26年10月21日	単独

講義・講演題目	講義・講演会名称	発表年月日	備考
『やっておいて良かった!』 と思わせる小学校英語とは? 小学校英語では何をどのように? に?	JASTEC英語活動研究会第22回英 語活動研究会 (於 昭和女子大学附属昭和小学校)	平成26年12月6日	単独
英語のリスニング、それはグ ローバル化社会への登竜門	関東学院大学文学研究科英語英米 文学専攻講演会 (於 関東学院大学)	平成26年12月19日	単独

シンポジウム等 パネリスト・コーディネイタ	シンポジウム等名称	発表年月日	備考
IT化時代の外国語教育 —学習者の多様化にメディアでど う応えるか、「フォーラム：学習 者要因からみる外国語教育の課題」	外国語教育メディア学会 (LET) 第42回 (平成14年度) 全国研究 大会 (於 大妻女子大学)	平成14年8月2日	共同
IT化時代の外国語教育 —学習者の多様化にメディアでど う応えるか、「全体シンポジウム: 学習者の多様化にメディアでど う応えるか」	外国語教育メディア学会 (LET) 第42回 (平成14年度) 全国研究 大会 (於 大妻女子大学)	平成14年8月2日	共同
これからの外国語教育に於ける教 育メディアの活用 —LL, コンピュータ, CALLで できること最新の学習理論に基づ いた外国語教育	外国語教育メディア学会 (LET) 関東支部 第113回 (平成15年度) 研究大会 (於 小樽商科大学)	平成15年11月8日	共同
スーパー・イングリッシュ・ハイ スクール (SELHi) フォーラム —英語の授業の改善のために —オールイングリッシュで進めら れるか? 英語の授業	「英語が使える日本人」の育成 のためのフォーラム2005, 文部科 学省主催 (於 東京ビッグサイト)	平成17年3月25日	共同
変わりつつある高校英語 —スーパー・イングリッシュ・ラン ゲージ・ハイスクール (SELHi) の成果	「英語が使える日本人」の育成 のためのフォーラム2006, 文部科 学省主催 (於 パシフィコ横浜)	平成18年3月17日	共同
小学校の英語コミュニケーション 活動と評価を支援する教育システ ムの提案 —教師とメディアによるティ ーム・ティーチング—	外国語教育メディア学会 関東 支部第117回研究大会 (於 清泉女学院大学・清泉女 学院短期大学)	平成18年10月28日	共同
今,なぜ,どのようなコミュニケー ション力が求められているのか	千葉大学・日本語部門主催, 普 遍教育コミュニケーション・リ テラシー科目設置に向けた研究 会と研修会 (計7回)	平成18年9月20日 平成18年9月27日 平成19年1月26日 平成19年2月6日 平成19年2月19日 平成19年3月2日 平成19年3月5日	共同

シンポジウム等 パネリスト・コーディネータ	シンポジウム等名称	発表年月日	備考
学習コミュニティーを生み出す授業 —CALLとヒューマン・インタラクションを系統化した言語指導	外国語教育メディア学会関東支部大会第120回（2008年度）研究大会 （於 東洋学園大学）	平成20年6月7日	共同
ビデオによる授業研究と協議「子どもとのインタラクションを重視した『聞く活動』」 （授業者：有松真規子）のコーディネータ・コメンテータ	日本児童英語教育学会（JASTEC）関東甲信越支部研究大会 （於 青山学院大学）	平成25年12月18日	単独
映像による研究授業と協議：「子どもの学びを促進させる授業を目指して—子どもの学習能力と指導目標・内容・方法の選択」（授業者：入江潤）へのコメンテータ	第35回日本児童英語教育学会（JASTEC）全国大会 （於 青山学院大学）	平成26年6月29日	単独